

# 京都府市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名：笠置町

## 1. 平成29年度 市町村体制づくりの取組について【総括表】

計画の概要等	背景	本町は、過疎化が進むとともに自主財源である町税収入は一般財源の2割程度しかありません。そのため交付税に頼りきった財政運営となっています。また、社会資本の整備を行うに当たっては、地方債等を財源とせざるを得ず、財政硬直化の大きな要因となっている。		
	必要性	今後も税収の大幅な増収を見込むことが難しいうえ、公債費や物件費については、地方創生事業もあって増加傾向にあります。このような中で、住民ニーズの多様化・高度化へ対応するためにも、持続性のある財政力の維持が必要であり、経常的経費の更なる見直し等経費削減に努めるとともに、地方債の発行抑制等に努め、将来負担の軽減を図り、財源確保に取り組みつつ行財政改革を継続して推進して行く必要があります。		
	概要	笠置町行政改革大綱を基に、事務事業の見直し、職員の資質向上、行政サービスの水準の確保及び効率的な財政運営等の取組を進め、一層の行財政改革を推進するとともに、各種財政指標の改善に努めることを目的としています。		
	効果	本計画によって、施設等の長寿命化対策を始めとする様々な行財政改革の取組を一層推進することにより、財政負担の軽減を図り、持続的、安定的な財政運営の構築を図ります。		
事業実施による効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	事業効果（単位：人・千円等）
小規模市町村支援	町道・林道維持事業	地域生活に密着した町道・林道については、利用していくことで年々経年劣化等が進むが、常に良好な状態に保つように維持・修繕し、一般交通に支障のないように努めなければなりません。そのために町内巡回等を実施することで、町道・林道の状況を把握することで、事後的な修繕から予防的な修繕として事業を実施し災害の軽減及び長期的な管理経費の削減を図るものです。29年度については、町内5路線の側溝清掃及び除草等を実施することにより、道路の安全性や快適性等の確保を図りました。	林道切山線・横川線除草業務：切山線（L=1.977km、A=3,954㎡）、横川線（L=4.273km、A=8,546㎡） 林道三国越線・野田線除草業務：三国越線（L=2.382km、A=4,764㎡）、野田線（L=1.416km、A=2,382㎡） 林道切山線維持修繕工事：（L=1.977km、L=497m（側溝清掃）） 町道笠置～有市線他道路維持修繕工事：（A=2,460㎡）	1,041千円
	町道・林道維持事業(地元管理)	笠置町飛鳥路と有市をつなぐ木津川の潜没橋は、増水により年間4～5回通行止めとなる。通行止めの際の迂回路として本町道が唯一の路線となる。本路線は幅員狭小であり草木が繁茂すると通行に支障をきたす。このような状況になる前に年間複数回、飛鳥路区で除草及び維持管理を実施し、安心・安全な通行を確保した。	町道有市柳生線除草作業 2.9km×1.0m	78千円
	町営住宅管理事業	建築後相当年数が経過している当町の町営住宅は、所々修繕が必要となっています。住宅の実態把握に努め、安心・安全の観点から本年度では、緊急性の高いガス回りの修繕を中心に玄関ドアや雨戸等の修繕を図ることで、施設の長寿命化を図るとともに、高齢者等が安心して快適に暮らすことが出来る住環境を整備しました。	町内にある公営住宅のうち、奥田住宅3戸で雨戸等や玄関等の修繕の実施、有市住宅1戸ではガス給湯器の修繕を実施。	12,393千円
	運動公園住民共同管理事業	運動公園は、地域住民の生涯スポーツ並びにコミュニケーションの場として必要な施設であり、NPO法人に維持管理を委託することで、多様化する住民ニーズに対応するための人員の確保ができ、かつ管理運営の経費削減が図られました。	管理委託料1,314千円	4,686千円
	相楽東部未来づくりセンター設置事業	京都府職員とともに各町村1名ずつ集まり、地域の魅力を発掘しながら未来に希望の持てる方策を検討し、小規模町村単独では設置することが難しい部署の業務を振興することができた。	①サテライトオフィスの現地モニター等 2件 ②実践型雇用創造協議会設立 1件 ③教育体験旅行の広域的な協議会設立 1件 ④笠置駅カキカフェにおけるスイーツメニュー開発等支援 1件	915千円

（記載要領）

- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 「主な実績数値（出来高数値等）」、「事業効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。

京都府市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

2. 平成29年度 京都府市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について  
【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目	
小規模市町村支援		町道等維持管理事業	
事業着手前			
課題・現状	本町の職員数は、H8年の56人からH28年には47人となっており、職員の絶対数が少ない中で適正配置に努め、住民サービスの向上と行政需要の増加への対応してきました。このような状況において、町道・林道の整備状況は、道路幅員の狭少が目立っており、現在、自動車のみならずサイクリストや近年住民の健康対策として自主的に行われているノルディックウォーキング等の増加により、自動車運転者、自転車運転者及び歩行者共々に安全な通行の確保が望まれています。		
事業概要	地域生活に密着した町道・林道については、利用していくことで年々経年劣化等が進みますが、常に良好な状態に保つように維持・修繕し、一般交通に支障のないように努めなければなりません。そのために沿線の草刈り、路面補修や附帯構造物の改修等必要な維持補修作業を実施することにより、安全性や快適性等の確保をはじめ、災害の軽減及び長期的な維持管理経費の縮減を図るものです。		
期待される事業効果等	町道・林道については、利用していくことで年々経年劣化等が進みますが、常に良好な状態に保つように維持・修繕し、一般交通に支障のないように努めなければなりません。 それに答えるためにも、危険性や緊急性等を勘案しつつ、沿線の草刈り、路面補修や附帯構造物の改修等必要な維持補修作業を実施することにより、安全性や快適性等の確保をはじめ、災害の軽減及び長期的な維持管理経費の縮減を図られる。 また、今回の改修区間には、「日本茶800年の歴史散歩」を巡る茶いぐるロード整備計画予定の区間も含まれており、日本遺産に認定された美しい景観を巡るサイクリングコースとして観光振興や地域振興にも寄与するものとする。		
事業実績			
取組状況	29年度においては、町内5路線の側溝清掃及び除草等を実施することにより、道路の安全性や快適性等の確保を図りました。		
主な実績数値 (出来高数値等)	林道切山線・横川線除草業務：切山線(L=1.977km、A=3,954㎡)、横川線(L=4.273km、A=8,546㎡) 林道三国越線・野田線除草業務：三国越線(L=2.382km、A=4,764㎡)、野田線(L=1.416km、A=2,382㎡) 林道切山線維持修繕工事：(L=1.977km、L=497m(側溝清掃)) 町道笠置～有市線他道路維持修繕工事：(A=2,460㎡)		
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	必要な箇所のみを実施することにより、経費の縮減を図りつつ、安心・安全な町道・林道の維持を図ることが出来た。
事業効果			
事業効果の考え方	必要な箇所のみ事業実施により、道路等の安全性や快適性の確保及び経費の縮減が図れた。		
年度	H29		
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	8,196		
本事業の実績額(b)	7,155		
効果(a)-(b)	1,041		

(記載要領)

単位：千円

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

# 京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

## 2. 平成29年度 京都市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について

### 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分	事業名・実施項目		
小規模市町村支援	町道・林道維持事業(地元管理)		
事業着手前			
課題・現状	本町の職員数は、H8年の56人からH28年には47人となっており、職員の絶対数が少ない中で適正配置に努め、住民サービスの向上と行政需要の増加への対応してきました。このような状況において、町道・林道の整備状況は、道路幅員の狭少が目立っており、現在の自動車の普及率の上昇、また近年住民の健康対策として自主的に行われているウォーキング等により、自動車運転者、歩行者共に安全な通行の確保が望まれています。		
事業概要	町道の草刈り作業を地区住民(飛鳥路区)に依頼することにより、交通に支障のある箇所は複数回実施するなど、地域のニーズに合った管理がされる。		
期待される事業効果等	地区住民に依頼することにより、地域のニーズに合った管理ができるとともにコスト削減にも繋がる。		
事業実績			
取組状況	笠置町飛鳥路と有市をつなぐ木津川の潜没橋は、増水により年間4~5回通行止めとなる。通行止めの際の迂回路として本町道が唯一の路線となる。本路線は幅員狭小であり草木が繁茂すると通行に支障をきたす。このような状況になる前に年間複数回、飛鳥路区で除草及び維持管理を実施し、安心・安全な通行を確保した。		
主な実績数値 (出来高数値等)	町道有市柳生線除草事業 2.9km×1.0m		
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	地元の区(飛鳥路区)に管理を依頼することにより、地域ニーズに沿った管理が行われ、かつコスト削減にも繋がった。
事業効果			
事業効果の考え方	地元地区に維持管理を委託することにより、地域のニーズに沿った管理作業が出来るとともに、かつ経費の削減が図れた		
年度	H29		
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	228		
本事業の実績額(b)	150		
効果(a)-(b)	78		

(記載要領)

単位:千円

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

# 京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

## 2. 平成29年度 京都市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について

### 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分	事業名・実施項目						
小規模市町村支援	町営住宅管理事業						
事業着手前							
課題・現状	現在笠置町の公営住宅は、建築してから相当年数が経っており、入居者等から住宅の建て替え等の要望はありますが、本町の財政状況では老朽住宅の建て替えは困難であるため、今後も安全面を最優先に必要な部分改修の必要性が生じています。						
事業概要	建築後相当年数が経過している当町の町営住宅は、所々修繕が必要となっています。住宅の実態把握に努め、安心・安全の観点から本年度では、緊急性の高い水回りの修繕を中心に手すりを設置したりすることで、施設の長寿命化を図るとともに、高齢者等が安心して快適に暮らすことが出来る住環境を整備します。						
期待される事業効果等	新たに建て替えを行うには財政負担が大きすぎるため、緊急性の高い箇所の維持修繕を実施することで、入居者に快適な住宅環境の維持・提供を図るとともに、施設の長寿命化、長期的な経費の削減が図れます。						
事業実績							
取組状況	公営住宅については、老朽化が進んでいる。しかし新たな建替えや大規模修繕を行うには、財政負担が大きすぎるため、各々の住宅の実態把握に努め、安心・安全の観点から必要な維持修繕を進めるとともに、予防的な改修を進め施設の長寿命化を図り、長期的な経費の削減を図った。						
主な実績数値 (出来高数値等)	町内にある公営住宅のうち、奥田住宅3戸で雨戸等や玄関等の修繕の実施、有市住宅1戸ではガス給湯器の修繕を実施。						
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	修繕工事等により住宅の長寿命化が図れた。				
事業効果							
事業効果の考え方	建設費4億3千9百万円、残存年数が5年～10年の住宅41戸を長寿命化により40年に延長する。						
年度	H29						
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	13,085						
本事業の実績額(b)	692						
効果(a)-(b)	12,393						

(記載要領)

単位:千円

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

# 京都市市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

## 2. 平成29年度 京都市市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目							
小規模市町村支援		運動公園住民共同管理事業							
事業着手前									
課題・現状	本町の職員数は、H8年の56人からH28年には47人となっており、職員の絶対数が少ない中で適正配置に努めてきましたが、住民サービスの向上と行政需要の増加への対応を図るために民間委託を積極的に進める必要があります。								
事業概要	運動公園は、地域住民が子どもから大人まで生涯にわたってスポーツを親しむための施設として設置し、生涯スポーツ並びに地域住民のコミュニケーションの場として必要な施設であります。このような施設の維持管理をNPO法人へ委託する。								
期待される事業効果等	管理運営費の経費削減が図られるとともに、多様化する住民ニーズに対応するための人員の確保をすることができる。								
事業実績									
取組状況	地域住民の生涯にわたってスポーツを親しむための施設として設置した運動公園の維持管理をNPO法人へ委託することにより、長期的な施設の維持管理経費の削減を図った。								
主な実績数値 (出来高数値等)	管理委託料1,314千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	多様化する住民ニーズに対応するための人員の確保ができ、かつ管理運営の経費削減が図られた。						
事業効果									
事業効果の考え方	運動公園管理業務として職員を配置した場合の人件費との比較【単位：千円】								
年度	H29								
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	6,000								
本事業の実績額(b)	1,314								
効果(a)-(b)	4,686								

(記載要領)

単位：千円

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

# 京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

## 2. 平成29年度 京都市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目							
小規模市町村支援		相楽東部未来づくりセンター設置事業							
事業着手前									
課題・現状	笠置町・和東町及び南山城村の相楽郡東部3町村は、地域の特性を生かし地域活性化に取り組んできたが、少子高齢化の急速な進展、本格的な人口減少等の課題について1町村だけでは課題解決は困難であり、京都府等との連携が必要である。								
事業概要	笠置町に「相楽東部未来づくりセンター」を設置し、京都府と笠置町、和東町及び南山城村が共同して移住・定住の促進等の取組を推進。								
期待される事業効果等	3町村及び府が一丸となって効果的な対策を推進することが期待できる。実働部隊となるセンター職員は、府職員1名及び3町村の職員1名ずつの計4名での体制で、府・3町村の併任となることから、当町としては1名分の活動経費のみの支出で4名分の人材確保となり、実際の支出には表れない効果的・効率的な事業を展開できる。								
事業実績									
取組状況	町村単独ではなし得なかった、ひと・企業の誘致の推進、広域観光の振興、広域交通網の利用促進における積極的な提案、町村の取組のブラッシュアップ等を京都府の関係部署(山城広域振興局・京都府庁関連部署)と共同して推進し地域の活性化に貢献している。								
主な実績数値 (出来高数値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトオフィスのパンフレット作成 1件</li> <li>・サテライトオフィスの現地モニターツアー 1件</li> <li>・京都市内のサテライトオフィスとの相互乗り入れ(調整中)</li> <li>・実践型雇用創造協議会の設立 1件</li> <li>・教育体験旅行の広域的な協議会の設立 1件</li> <li>・スポーツ観光の推進(進行中)</li> <li>・笠置駅ナカ茶カフェにおけるスイーツメニュー開発等の支援 1件</li> </ul>								
期待される事業効果等 に対する達成状況	◎	(左の理由)	小規模町村においては、単独で実施することが難しい産業立地や戦略的な観光振興等の業務を、京都府と連携し共同で振興することができたため。						
事業効果									
事業効果の考え方	府職員及び他町村の職員と合わせて4名での業務連携により、情報収集能力の確保等、幅広い対応が可能となっている。								
年度	H29								
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	1,200								
本事業の実績額(b)	285								
効果(a)-(b)	915								

(記載要領)

単位:千円

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。